

7363		高速自動車国道料金
品 目	銘 柄	単 位
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	1 回
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、割引区分（平日料金・休日料金）別	
	普通車、均一制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	
	区間別、割引区分（平日料金・休日料金）別	
価格選定		
<p>(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。</p> <p>(2) 対距離制区間においては、利用 1 回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1 km 当たりの料金）を選定する。</p> <p>(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用 1 回に対して課される均一料金を選定する。</p> <p>(4) 価格は、割引区分（平日料金・休日料金）別の E T C 割引後価格を用いる。E T C 割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。</p>		
指數算出方法		
<p>① 割引区分(<math>d</math>)別の E T C 割引後価格について、原則として基準年の日数(<math>A</math>)を用いて加重平均し、料金区分(<math>a</math>)別、地域区分(<math>b</math>)別及び区間(<math>c</math>)別の平均価格をそれぞれ算出する。</p> $P_{t,a,b} = \frac{\sum_d P_{t,a,b,d} A_d}{\sum_d A_d}$ $P_{t,c} = \frac{\sum_d P_{t,c,d} A_d}{\sum_d A_d}$		
<p>② 対距離制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指數を算出する。</p> $I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100$		
<p>イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合(<math>w</math>)を用いて加重平均し、対距離制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{対}} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}$		
<p>③ 均一制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、区間別の指數を算出する。</p> $I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100$		
<p>イ 区間別の料金収入割合(<math>w</math>)を用いて加重平均し、均一制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{均}} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$		
<p>④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合(<math>w</math>)を用いて加重平均し、品目別価格指數を算出する。</p> $I_t = \frac{I_{t,\text{対}} w_{0,\text{対}} + I_{t,\text{均}} w_{0,\text{均}}}{w_{0,\text{対}} + w_{0,\text{均}}}$		
価格指數の適用		
全国一律		

$t$ : 比較時、0 : 基準時
$a$ : 料金区分
$b$ : 地域区分
$c$ : 区間
$d$ : 割引区分